

・アンケート回収率 81% 49/60 人

ニーズ調査結果報告書

1.調査内容

<介護状況と見込>

- ・49人中38人(77.5%)が介護経験なしと回答
- ・介護経験有無にかかわらず、今後5年のうちに介護の可能性のある人が26人
 - 「介護する可能性がかなり高い」6人
 - 「介護のする可能性が少しある」24人
- ・介護に関する不安が多かったもの
 - 1.公的介護保険制度の仕組みがわからない
 - 2.要介護者になった時の予想がつかず、漠然とした不安がある、と回答

<介護関係制度認知状況>

- ・49人中22人が介護保険制度の被保険者かどうかもわからない、と回答
- ・12人が地域包括支援センターについて名称は知っているが利用法はわからない、34人が名称も利用方法も知らないと回答
- ・勤務先の介護支援制度については、7人が制度があることは知っているが内容はわからない、39人が制度があるかどうかしらないと回答

<仕事と介護の両立>

- ・仕事を続けられると思う3人、続けられない14人、わからない3人、未回答21人

<介護が発生した際の望ましい働き方、制度>

- ・49人中35人が短時間勤務などを利用しつつ、できるだけ働きながら仕事と介護を両立したいと回答
- ・介護休業期間中は仕事をしながら介護体制を構築する期間(どちらかというとも含めて)20人、介護に専念するための期間(どちらかというとも含めて)25人

<労働状況>

- ・コミュニケーションに関しは同僚、部下と円滑が49人(100%)、上司とも円滑が46人と回答

2.調査結果からの課題

従業員の年代が 49 人中、20 代 19 人、30 代 18 人、40 代 8 人、50 代 2 人、不明 2 人と比較的若いためか介護保険制度そのものの基礎的情報不足と思われます。

今後 5 年のうちに介護する可能性がかなり高い/少しでもあると回答したひとが 30 人いますが、勤務先の介護支援制度について理解している人がほとんどいないことが判明しました。

時短勤務などを利用しながら、介護と仕事とできるだけ両立したい、というニーズが多いため、その為の制度が確立されることが望ましいと思われます。